



第8回緑総祭が行われました！

10月9日(金)10日(土)にさわやかな天候のもと第8回緑総祭が開催されました。

来校された方まず迎えるのは、生徒会本部やテニス部員製作の「8thRYOKUSOFES」と描かれた門です。色使いや軽量化の工夫が施されています。



そしてさらに進んで行きますと、ハロウィーン風のピラミッド状の造形物があります。



近づいてよく見てみると、



クラスごとに書かれたメッセージの張られたブロックからできていました。全クラスで全員が思いを書き込んだメッセージの集まりです。緑総では文化祭において、全員参加のモニュメント作成する伝統があります。去年は虹で今年はピラミッドです。全生徒が一つにまとまる発想があたたかい感情を起こさせます。

各クラスの発表、部活動の発表、PTAの展示・販売と、例年通りの「オール緑総」によるエネルギーに満ちた二日間でした。

働く人から学ぶ～MIRAI-aの授業から

本校では、生徒のみなさんが自分の在り方、生き方を学ぶ時間として、3年間をとおして、MIRAIの時間を置いています。

この時間は、1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「総合的な学習の時間」を使って行います。

10月16日(金)に1年次のMIRAI-aで「働く人から学ぶ」という、社会人講師12人の方による授業が行われました。講師の方に同内容で25分の授業を2回実施していただき、生徒は2種類の授業を受けることとなります。

6つの系列でお2人ずつの講師で、生徒の多様な希望にできるだけ応えようとする計画となっています。

NPO法人代表、プログラマー、映像製作会社代表、産廃リサイクルの方、里山保全NPOの方等、多彩な講師陣です。

私は、本校卒業生2人の授業に参加しました。1人目は学校近くの特別養護老人ホーム職員の方です。この3月に卒業した方で、仮にAさんとしましょう。

Aさんは、福祉関係を学びたくて本校に入学したそうです。1年次に福祉科目を学ぶことができず、1年次の夏休みに自ら今勤務している老人ホームをお願いをして2週間のボランティアを行います。2年次以降は社会福祉関係や手話の講座を学びます。そして、介護職員初任者研修の試験に合格し就職しました。進学しなかったのは早く社会に出て福祉の仕事をしたかったからだそうです。目的をしっかりと決めて自分を高めていったことがよくわかりました。

2人目はスポーツ店社員の方です。Bさんとします。Bさんは高校時代は吹奏楽部の部長として人をまとめる貴重な体験をし、濃密な時間を過ごしました。

在学時は将来についてあまり考えていず、進路を決定するときも、何を学ぶか決められず、進学後の就職の不安定さ等から、進学するよりも就職を選択します。職種も第一希望がかなわずご親戚の紹介で現在のお店となります。

スポーツと関わりの少なかったBさんは日々が勉強だそうです。未知の世界を肌で感じて勉強するのが楽しいとのこと。部活で身につけた、コミュニケーション力と苦しさに負けない気持ちを武器に、毎日を乗り切っているそうです。今はシューフィッターの経験を積んでいる最中で、お客様にピッタリな靴を選ぶ楽しさを感じているそうです。部活で培った人間性が今の生活に生きていることがよくわかりました。

校長 遠藤 誠